

平成28年度

石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で2年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

第1回、第2回研修会

- 日時 平成28年5月9日（月）、10日（火）9：25～
- 場所 石巻市立万石浦中学校体育館
- 講師 広島大学大学院教育学研究科
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



☆研修内容

- ①だれもが行きたくなる学級・学校をつくる
ーマルチレベル・アプローチ(MLA)総論ー
- ②マルチレベル・アプローチを支える理論
- ③RTI PBIS 修復的正義

他地区の先進的な取組を御紹介いただきながら、MLAの考え方を概観することができました。

ソーシャルボンド理論、欲求理論、行動理論、愛着理論について、研修を深めました。

特にPBISの実践における、5つの視点（価値の明確な提示、学校レベルでの価値の共有、価値に基づいた具体的行動の提示、良い行動が生起しやすい仕掛け、即評価）は参考になりました。



<受講者の声>

- 感情交流の演習を通して、お互いの距離が縮まることを実感できた。子どもたちが、クラスのどの子どもこのような交流ができるようになれば、支持的風土のあるクラスづくりができると思った。また、職員同士でも同じことが言えると思った。学校に来るのが楽しみになる雰囲気を作りたい。【小学校 男性】
- 「子どもの欲求を満たす」というところは、現場でもきちんと認識されていないように感じました。「交流欲求が満たされないとその上の欲求は満たされない」という点を、戻ってから確認しなければならないと思いました。指導が困難な児童生徒が昔より多くなっている感じがしますが、「だからできない、難しい」ではなく「だからどんな手があるか、どうするか」をチームで考えていきたいです。【中学校 女性】